

# 院生ライフレポート

## ☆教職大学院 1 年生前期の授業を一部紹介します☆

2023年  
第2号(5月)

入学してはや1カ月が経ちました。授業や院生生活に徐々に慣れてきたところです。今年度は新型コロナウイルスによる規制が緩和されつつあることから、対面で授業を受けることができます。今回は、共通履修科目の授業6つのうち、3つの様子をご紹介します。

### ①特別支援教育の基礎と課題

(小松原先生・中島先生)

特別支援教育の基礎について理解し、「個に応じた教育的支援」を明らかにするとともに、自らの実践課題をまとめることが目標です。多様な演習やグループワークを通して、当事者の困り感を体験的に学んだり、インクルーシブな教育の在り方を考えたりしています。



### ②教育経営の基礎と課題

(平田先生・松尾先生)

近年の教育改革について、その底流にある原理を理解し、どのように推進すれば公教育の役割を果たすことができるのか考察することが目標です。「安全・安心・快適で質の高い教育環境の整備」を本質的な役割とする教育経営の課題について、ストレートマスター(以下ストマス)と現職教員(以下現職)がペアで発表を行い、アクティブ・ラーニングで意見を交換した後、リプライシートに自分の考えをまとめ、理解と考察を深めていきます。

### ③授業づくりと学級経営の基礎と課題

(米田先生・竜田先生)

子どもの発達段階に応じて変わる「授業づくり」と「学級経営」の方法や配慮についての基礎理論を理解し、自らの実践課題をまとめることが目標です。現職とストマスが協力して、授業づくり・学級づくりのためのハンドブックを作成し、発表を通して学び合っています。



○写真は「授業づくりと学級経営の基礎と課題」の授業の様子です。大きな袋いっぱいのような重さのペットボトルキャップの総数は、どのように計算したら求められるのかについて考えているところです。  
○紹介できなかった3つの授業については6月号でご紹介します。